

〈東京都立大島海洋国際高等学校 TEL:04992-4-0385 FAX:04992-4-1764〉

メールアドレス：S8000531@section.metro.tokyo.jp

HP アドレス：<http://www.osima-kaiyokokusai-h.metro.tokyo.jp/index.html>

3 年生を送る会

1 月 18 日午前中に三年生を送る会が行われました。センター試験と重なり出席できない3年生もいましたが、生徒会役員中心に準備し、心温まる会となりました。吹奏楽部や有志のバンド、先生方の合唱や、メッセージビデオの発表がありました。三年の寄宿舎生は終了後、帰省となりました。



学習発表会

1 月 18 日午後、他の人が経験した事を知り、今後の活動に役立てるため、学習発表会が行われました。内容と発表者は以下の通りです。

- | | | | |
|-----------------|--------------|-----|------------|
| 1, 沖ノ鳥島観測航海発表 | 観測結果分析 | 3 年 | 平塚隆将・鵜飼茉玲 |
| 2, 2 年社会系航海学習発表 | 船内生活 | 2 年 | 高沼快和・市村直詩 |
| | 釜山市内見学 | 2 年 | 榊絵利佳・酒井魁土 |
| | 釜慶大学との国際交流 | 2 年 | 幡野秀樹・渡邊創乃介 |
| 3, 2 年海洋系航海学習発表 | 大島丸の概要・航路・天気 | 2 年 | 関春花・冨田泉 |
| | 沖縄でのダイビング | 2 年 | 谷海聖・平本夏海 |
| | サイパンでの国際交流 | 2 年 | 高木玲二・初山隆太 |
| 4, 国際的体験発表 | メキシコ留学体験 | 1 年 | 竹内義光 |
| | オーストラリア高校生来日 | 2 年 | 白石卯月 |

最後の白石さんは、昨年行われたオーストラリアの語学研修のときのホストファミリーの Z a r a h さんが日本にやってきた時の対応を発表したものです。都内の各所を案内したり、説明をするのに、いろいろ勉強しなければならない事に気付いたという内容でした。使い捨てカイロがなぜ暖くなるのかを説明するのに苦労したそうです。語学研修の時の友情が長く続いている事も素晴らしく、この関係を是非発展していった欲しいものです。



沖ノ鳥島フォーラム

1月19日に有楽町の国際フォーラム ホールD7で東京都労働産業局主催の「第8回沖ノ鳥島フォーラム」が行われました。内閣官房総合海洋政策本部や国土交通省の現在の取り組みについての発表や、日本クルーズ客船株式会社の沖ノ鳥島観光ツアーについての提案、東京大学 茅根創教授と中部大学 加々美康彦准教授のディスカッションがありました。その中で中溝晃弘君と芦原裕



太君が大島丸の観測航海について、その内容と観測結果分析について15分発表しました。今回の観測で、北太平洋中層水と亜熱帯モード水の存在を確認した他、島の南東側でグラフに変化が顕著であることから島影効果があると推測できました。

東京大学海洋アライアンス出前出張講義

1月29日、東京大学アジア生物資源環境研究センターの福代康夫教授に御来校頂き、2年生に対して「きれいな海と望ましい環境」と題して講義していただきました。2年生の進路意識の向上と学問に対する意欲を啓発する事が目的です。先生の御専門は単細胞微細藻類分類学・有毒微細藻類生態学です。生徒の感想を掲載します。

- ・ 海には様々な問題があって、何か一つを解決してもまた次の問題が出てきてしまう。きれいな海を目指せば、海の中の栄養分が少なくなると海の漁獲量が減ったり、ノリの養殖などがうまくいなくなってしまう。「きれいな海」と「豊かな海」どちらがいいかと聞かれたら私は「きれいな海」が良いと言ってしまうと思う。でも、このことを人間がえらそうに言う権利があるのかなと考えてしまった。

- ・ 普段の授業とは違って、より深い内容だった。赤潮というのは習ったけど、そのことによってどう影響がでるのか、悪循環がどのように生まれているのかがとても良く理解できた。数字で表してあったりして、現実的に危機感を覚えました。解決策は人間の開発と地球環境の両立を考えなければいけないが、すごく難しい事だと思う。未来に全てを解決してくれる様なものが、開発されるのを待つしかないのか。今すぐできることはないかを考えることは直ぐには思いつかない。

- ・ 普段から私たちが食べているエビなどの生産地や生産過程を知ると、間接的にも消費者の私たちが環境悪化を進めている責任を感じました。「食」一つを考えても、その「食」が作られるまで、どのような過程があったのか。それを考える責任は我々一人ひとりにあるものだと感じました。

- ・ 自分は大島に住んでいて、海に関わる事が多いです。海やノリ、魚の話が聞けたのは、これから住んでいくのに少しは気にして生活できるようになれたと思うので良かったです。魚の量を増やしたりするのは大切だと思うけど、海を環境を崩すのは良くないことだと思いました。今ある環境を維持していく事が自分にできることなので、実践していきたいです。

百人一首大会

2月8日、1年生が総合の学習の時間に百人一首大会を行いました。4、5人のチームをつくり、クジで相手を決め、チームそれぞれ2回対戦しました。武道場の畳の上で熱戦が繰り広げられました。この日のために授業でも事前学習を行ったり、ホームルームで練習をした成果も出て、上の句だけで素早く取る猛者も多く、かなりレベルの高い戦いとなりました。「その札狙っていたのに～」

「一番好きな歌取られた～」などと、あっちこちで声が上がり、盛況の内に終了しました。優勝したチームには、賞状と賞品が渡されました。



ボランティア部仮設住宅へ花プレゼント

昨年の表彰していただいた公益財団法人修養団（SDY）より、「仮設住宅に花を植えたプランターを贈り、仮設住宅の雰囲気をもっと明るくしたい」という企画に活動資金をいただきました。45個のプランターにパンジーとビオラを植え、慣れない作業でしたが何とか完成する事ができました。2月11日に仮設住宅に持参して、受け取っていただきました。少しでも喜んでいただければ幸いです。SDYの皆様ありがとうございました。



表彰棚完成

学校の来賓・職員玄関に飾り棚を新設しました。今まではスチールの書棚を使っていましたが、木製の特注品です。各部の成果と海外交流の記念品を展示します。一昨年の駅伝大会のトロフィー・優勝旗、セーリング部・潜水部の表彰カップや、ボランティア部の感謝状が目立っています。研究発表の賞状など、これからは生徒諸君の活躍を期待しています。



セーリング部

2月1～2日に若洲ヨット訓練所で開催された「東日本420選手権大会」に出場しました。年齢問わず東日本の420級セーラー達が集まり、男女最上位チームは2014年度420世界選手権の出場枠を獲得できる大会でした。私たちチームの最上位は11位（大井汐里・関春花）という結果でした。

私たちは高校生大会種目であるFJというヨットで練習、大会出場をしているので、420級に乗る機会はありませんでした。しかし、2015年度より高校生大会種目がFJ級から420級にかわるので、これからは420級の大会にも積極的に参加をしたいと思います。

また、セーリング部創立から8年かけて集めてきた13艇のFJから船の違う420に切り替えるのは時間がかかりますが、2015年度に活躍してくれるであろう、今の1年生に期待しつつ、日々の練習を頑張っています。



セーリング部コーチ 宮内 梨沙

マラソン大会

2月16日、晴天に恵まれ大島町カメラアマラソンが開催され、本校も学校行事として参加しました。男子10km、女子5km。下の写真は校内入賞者です。中でも初山隆太君は29歳以下の部で2位、荒木瞳さんは女子一般の部で3位となり大島町から表彰されました。保護者の方も選手や応援団として、多数参加いただきました。お礼を申し上げます。

